

人権教育実践報告会発表作文集「はばたき」第36集の活用について

ホームページからもダウンロードできます。



小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の子どもたちが、「人権」とはなにかという答えを、自ら経験した喜びや苦しみなどから探した作品が掲載されています。

埼玉県教育局市町村支援部人権教育課
URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/s17/>

この文集には、次のようなことが書かれた作文を掲載しています。

- 1 「自分も、ほかの一人一人も、みんな大切ないのちをもった人間なのだ。」と考えている。
- 2 差別や偏見などで人間が人間を苦しめているまちがいに気づき、絶対にゆるしてはならないと考えている。
- 3 誰もが仲良く平和に暮らすために、自分はしたらよいか、どんな学級や社会にしていいたらよいのかを考え、行動しようとしている。



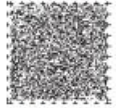
はばたき

人権教育実践報告会発表作文集

第36集
平成24年度



埼玉県教育委員会



音声コード

わたしはこの時初めて、友達の大切さが分かりました。この時のことをきっかけに、私も友達に優しくするよう心がけています。例えば、一年生の子が転んで泣いているのを見た時は、放っておくことができないので、「どうしたの？」と声をかけたり、転んだ子を保健室に連れていったりしています。

友達って優しい
小五 45ページ

今、わたしがたのしく生活できている。思い出と、この学校のやさしい友だちのおかげだ。はじめは、しゃべりかたがちがうから、なかなかよくなった友だちとも、今はすっかりなかよくなり、何うになりました。

心の中って、
小一 6ページ



できない。幼い子どもの人権を守ることがするのは大人だけだ。

子どもへの虐待。こんな悲しいニュースのない世の中になってほしいと心底願っている。そして、私は幼稚園の子どもたちのきらきらした目を思い出した。強く思うことがある。子どもに信頼される大人になりたい、と。そういう大人になったら子どもを守ろうという自覚ができ、それが、子どもの人権を守ることにつながっていくと私は思う。

子どもと人権
中三 79ページ



音声コード: 活字文書読み上げ装置で聴くことができます。



この「はばたき」には、県内各地の児童生徒の大変素晴らしい作文が掲載されています。
ぜひ、多くの方に読んでいただけるように、以下の活用例を参考として、積極的に利用くださるようお願いいたします。

活用例



学 校

☆朝会等における、校長講話で活用する。

- ☆道徳や総合的な学習の時間に活用する。
- ・資料として利用し、作者や文中に出てくる人の気持ちを考えさせる。
- ・授業の導入で読み、意欲づけを行う。
- ・授業のまとめで読み聞かせを行い、作者や文中に出てくる人の気持ちに共感させる。

- ☆ホームルームや休み時間に活用する。
- ・朝の読書の時間で、読み聞かせを行う。
- ・子どもたちがいつでも手にとって読めるように、学級文庫や図書館に置く。

☆人権感覚育成プログラム(学校教育編)を使う際に活用する。

- <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/keihatusiryou/>
- ・「こんなお話 ないかな」【小学校】(P15)のまとめで読む。
 - ・「あなたは賛成ですか？反対ですか？」【高等学校】(P87)の教材(話題)として活用する。
 - ・「自分の考えをつたえよう」【小学校】(P159)のロールプレイのテーマとして取り上げる。

家 庭・地 域



埼玉県のマスコット
コバトン

- ☆地域(公民館・図書館等)で活用する。
- ・住民がいつでも手にとって読めるような場所に置き、自由に読んでもらう。
- ・住民が集う会等で読み聞かせを行う。

- ☆人権感覚育成プログラム(社会教育編)を使う際に活用する。
- <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/keihatusiryou/>
- ・「わたしたちと人権」(P24)のふり返りで読み、考えさせる。
 - ・「とっておきの言葉」(P40)のふり返りで読み、話し合う。
 - ・「心のバリアフリーをめざして」(P74)のポイントにある「実際に障害のある人の体験談などを聞く」で、読む。

- ☆家庭で活用する。
- ・家族で読み、人権について話し合う。
- ・子どもへの読み聞かせを行う。

- ☆PTAの研修等で活用する。
- ・PTAが集う研修会等で読み聞かせを行う。